

自他のよさに気づき、互いに関わり高め合う 人間関係づくりの工夫

— ピア・サポート・トレーニングと
「ピアカード」を活用した認め合い活動を通して —

特別研修員 生徒指導・教育相談 眞下理江（中学校教諭）

生徒の実態

- 小学校から同じメンバー構成で過ごし、人間関係が固定化しがちである。
- 多くの人と関わる機会が、あまり持っていない。
- 互いに認める気持ちがあっても伝える方法が分からず、気持ちがうまく伝わらないこともある。

目指す生徒像

- ◎自分のよさや他の人のよさに気づき、積極的に関わり、高め合える生徒

実践①：絆を深めよう ～尾瀬学校～

○ピア・サポート・トレーニング

より良い人間関係づくりに必要なスキルの育成



ピア・サポート・トレーニングの様子

○尾瀬学校の班活動を通して友達のよさに気づき、互いによさを贈り合う活動

互いのよさを認め合う大切さの実感

☆ピアカードを贈り合った感想

- 友達の良い点を知るといことは、とても大切なことだと思う。
- ピアカードを通して、他の人のよさ、自分のよさについて考えるよい機会になった。
- このピアカードを通じて、みんなとの仲が近くなったような気がする。

目立て1
☆ピア・サポート・トレーニング

- ① 対人関係の特徴を知ろう
- ② プラスのストロークを贈ろう
- ③ 積極的な話の聴き方を学ぼう
- ④ 話し合ってみよう

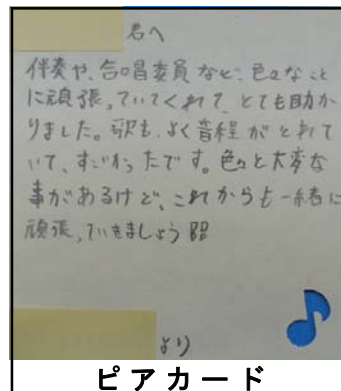
目立て2
☆「ピアカード」を活用した認め合い活動

- 「頑張り・協力・思いやり」の視点でよさを見付ける
- 出来事言葉と気持ち言葉で友達のよさを具体的に書く
- ※「ピアカード」とは、友達のよさを記入するカード

実践②：絆を深めよう ～合唱コンクール～

- 合唱コンクールを通して友達のよさに気づき、ピアカードで互いによさを贈り合い、自己のよさ(強み)を生かした実践目標を考える活動

自信を持ち、協力する気持ちの高まり



ピアカード



ピアカードを贈り合う様子

☆ピアカードを贈り合った感想

- 自分のよさや友達が思っていることなどを知ることができたので、強みを生かして合唱の練習をしていきたい。
- 一人一人によさがあることを今日の授業で改めて知ることができた。この一人一人のよさを生かして、自分たちのクラスらしさを出して、合唱コンクールに臨んでいきたい。

成果

- 友達のよさに着目することができるようになり、様々な場面で関わる姿が見られるようになった。
- 他者が考える自分のよさが加わることで、客観的に自分のよさを捉えることができ、それが自信につながり、意欲的に人と関わり活動しようという姿が見られるようになった。
- 普段の生活の中でも協力や助け合う姿が見られるようになり、和やかな雰囲気の中、一人一人が伸び伸びと活動する様子が見られるようになった。

課題

- 行事を中心に行った認め合い活動を、さらに日常生活の中で広げていく必要がある。
- 教師が率先して認め、褒め、励ましていくことでよさを見付ける姿勢を示し、子どもたちの人間関係づくりを支援していく必要がある。